

2019

ThreeBond

RACE REPORT

Vol.05



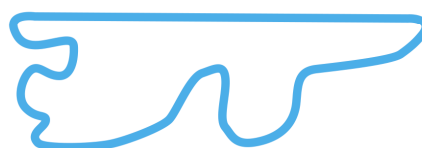
Round 11/Round 12 7月13日(土)/7月14日(日) 富士スピードウェイ

〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向 6 9 4

TEL: 0550-78-1234

<http://www.fsw.tv/>

at **FUJI**



コース全長 : 4,563m
コース幅 : 15~25m
高低差 : 上り最大8.88% 下り最大10.05%
直線長 : 1,475m

FUJI xerox
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material Co.

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS COFFEE

TOYOBO

zahlen

RAYS

SHIBA

KRS
KITEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD

2019 RACE REPORT

ThreeBond

両選手ともに上り調子で迎えた予選

全日本 F3 選手権シリーズ Round 5 (第 11 戦、第 12 戦) が、7 月 13 日 (土) ~14 日 (日) にかけて静岡県富士スピードウェイで開催された。週末は停滞する梅雨前線の影響で富士スピードウェイの天候は不安定となった。

公式スケジュールに先立ち、7 月 11 日 (木)、12 日 (金) には専有走行セッションが設けられたが、ドライ→ウェット→ドライと変転するコンディションの中、2 日間総合でベストタイムを記録したのは、上り調子の #12 大津選手だった。

天 候：曇り
気 温：19℃



#12 大津選手 予選 4 番手

#13 三浦選手 予選 10 番手

▽公式予選

公式予選は 7 月 13 日 (土) 午前 8 時 25 分から始まった。気温は 16℃と、5 月中旬レベルにとどまり、想定していたコンディションとは大きく異なる状況でレースウィークが始まった。空には厚い雲が垂れ込めているが路面はドライコンディションである。

1 セット目のタイヤを装着した #13 三浦選手は 6 番手、#12 大津選手は半周遅れのほぼ最後尾でコースインし、タイヤのウォームアップを行うとタイムアタックに入った。#13 三浦選手は前日に行われていた専有走行でこれまでとは違うセッティングを試し、好感触を得ていた。しかし条件が変わった影響か、予選セッションでは走り始めから違和感を感じていた。一方、#12 大津選手は狙っていたスリップストリームをうまく使えずセクター 1 でタイムが伸び悩んだものの 5 周目に 1 分 34 秒 890 を記録、この時点で 4 番手につけた。

#12 大津選手、#13 三浦選手ともセッション半ばでピットに戻り 2 セット目のニュータイヤを装着、2 回目のタイムアタックに向かった。

#12 大津選手は、今度はうまくポジション取りをしてスリップストリームを使ったタイムアタックに成功、12 周目に 1 分 34 秒 278 へタイムを更新、さらに 13 周目、1 分 34 秒 061 を記録してセッションを終えた。この結果、第 11 戦のスターティンググリッドは 4 番手、第 12 戦のスターティンググリッドは 3 番手と決まった。

#13 三浦選手はグリップ不足に苦しみ、第 11 戦で 10 番手、第 12 戦で 11 番手のスタートとなった。

<第 11 戦> 予選結果

Pos	No	Driver	Time
1	36	宮田 莉朋	1'33.507
2	11	Sacha Fenestraz	1'33.850
3	37	小高 一斗	1'33.994
4	12	大津 弘樹	1'34.061
5	65	Enaam Ahmed	1'34.219
6	35	河野 駿佑	1'34.404
7	8	片山 義章	1'34.481
8	2	大湯 都史樹	1'34.586
9	51	Ameya Vaidyanathan	1'35.308
10	13	三浦 愛	1'35.422

<第 12 戦> 予選結果

Pos	No	Driver	Time
1	36	宮田 莉朋	1'33.548
2	11	Sacha Fenestraz	1'34.076
3	12	大津 弘樹	1'34.278
4	37	小高 一斗	1'34.297
5	65	Enaam Ahmed	1'34.454
6	35	河野 駿佑	1'34.544
7	8	片山 義章	1'34.680
8	2	大湯 都史樹	1'34.721
9	51	Ameya Vaidyanathan	1'35.325
10	30	DRAGON	1'35.672
11	13	三浦 愛	1'35.684

FUJI XEROX
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS COFFEE

TOYOBO

zahnen

RAVS

SHIBA

KRS
KTEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD

2019

ThreeBond

RACE REPORT

第11戦 決勝 Race

スリーワイドからのチャレンジ！

▽第11戦

7月13日(土)午後1時45分、第11戦決勝レースのスタートが切られた。

スタート進行が始まる頃から天候が悪化、空から雨が落ち始めてはいたが路面はドライコンディションのままだったので全車スリックタイヤを装着してのレースである。

スタート合図の瞬間、4番手の#12 大津選手はうまく加速し第1コーナーのイン側から1つポジションを上げて3番手でレースを始めた。

一方、#13 三浦選手は第1コーナー立ち上がりで後続車にアウト側から並びかけられた。加速が良かった#13 三浦選手はそのまま立ち上がろうとしたが、後続車が引かなかったため、左後輪に後続車の右前輪が接触、コントロールを失ってコース外側へはじき出されてしまい、マシンは前後サスペンションを壊して走行不能となり、#13 三浦選手はリタイアすることとなった。

このアクシデントの処理のため1周目のうちにセーフティーカーが導入、4周が終了するまで隊列走行が行われた。この間、雨が強まり路面は濡れ始めたが各車スリックタイヤのままスタートを待つ。5周目、リスタートで#12 大津選手はうまく加速、前走車の#36 宮田選手と#11 サッシャ選手のスリップストリームに入るとアウトへ並んで第1コーナーへ進入した。

しかし、わずかに減速しきれずオーバーラン、コースへ復帰したものの1つ順位を落としてしまった。さらに最終コーナーで後続車にインを奪われ5番手へ順位を落とした。12周目、トップを走る#11 サッシャ選手がペナルティで後退したため#12 大津選手の順位は4番手へ繰り上がった。濡れかかった路面に自信を持っていた#12 大津選手はレース終盤に向けて一旦開いた前走車との間隔を縮め、残り1周となるコカコーラ・コーナーで前走車をオーバーテイク、3番手へ進出すると残り1周、順位を守り走りきって3番手でチェッカーフラッグを受けた。レース後、暫定優勝の#36 宮田選手が車両規則違反で失格となったため正式結果で#12 大津選手の順位は繰り上がり2位に入賞することとなった。



天候：曇り
気温：19℃



第11戦 決勝結果

Pos	No	Driver	Time
1	65	Enaam Ahmed	30'01.539
2	12	大津 弘樹	30'06.017
3	2	大湯 都史樹	30'07.232
4	37	小高 一斗	30'11.208
5	8	片山 義章	30'11.750
6	35	河野 駿佑	30'13.238
7	11	Sacha Fenestraz	30'26.082
8	5	石澤 浩紀	30'33.017
9	51	Ameya Vaidyanathan	31'26.927
10	30	DRAGON	31'43.302
DNF	13	三浦 愛	—

FUJI XEROX
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material Co.

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS COFFEE

TOYOBO

zahren

RAVS

SHIBA

KRS
KTEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD

2019 RACE REPORT

ThreeBond

第12戦 決勝 Race



天候：晴れ
気温：19℃

上がらないペース…

▽第12戦

7月14日（日）は朝から雨模様となった。シリーズ第12戦は、メインイベントのスーパーフォーミュラ決勝レースが終わった後、午後4時20分に始まった。

前日の第11戦でリタイアした#13 三浦選手は、コースオフした際ステアリングに手を打ち付けて捻挫と打撲を負ったため、大事をとってこのレースの出走を見合わせた。降り続いていた雨はスタート直前に弱まったがコースは完全ウェットコンディションで、各車レインタイヤを装着してコースイン、水しぶきを上げてフォーメーションラップを周回した後、21週のレースがスタートした。

3番手グリッドにいた#12 大津選手はうまく加速、#36 宮田選手と2番手#11 サッシャ選手の間に飛び込もうとした。しかしポールポジションの選手がアウト側に寄ってきたため2台に挟まれる形になったことから無理をせず、一旦引いてアウトへ切り返し第1コーナーに進入した。だが進路を変えているスキに5番手スタートの#65 エナム選手がインに飛び込み、#12 大津選手は4番手へ後退してレースを始めることとなった。

前日のような濡れかかりの路面ではペースが上がった#12 大津選手だったが、スーパーフォーミュラが走行した影響か、路面がフルウェットになった影響か、グリップ感を得られずペースが上がらない。前走車との間隔は周回毎に開き、反撃のきっかけをつかむことができないままレースは進んだ。結局#12 大津選手はそのまま4位のチェッカーフラッグを受けることになった。

第11戦で今季最高位の2位に入賞して7点、第12戦では4位に入賞して3点のシリーズポイントを加えた#12 大津選手はドライバーズランキングで7番手につけた。シリーズ第6大会（第13戦、第14戦、第15戦）は、7月27日から28日、宮城県のスポーツランド SUGO で開催される。



第12戦 決勝結果

Pos	No	Driver	Time
1	11	Sacha Fenestraz	39'51.283
2	65	Enaam Ahmed	40'10.989
3	36	宮田 莉朋	40'12.689
4	12	大津 弘樹	40'39.632
5	37	小高 一斗	40'43.893
6	2	大湯 都史樹	40'45.211
7	8	片山 義章	40'53.276
8	51	Ameya Vaidyanathan	40'57.398
9	30	DRAGON	41'38.058
DNF	13	三浦 愛	—

FUJI XEROX
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS COFFEE

TOYOBO

zahnen

RAVS

SHIBA

KRS
KTEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD

2019

ThreeBond

RACE REPORT

ドライバーコメント

▽ #12 大津 弘樹選手

第11戦では、セーフティーカー後のリスタートで1コーナーに3ワイドで飛び込んだのですが、どうしても前に出たいという気持ちが強く出てブレーキングを遅らせた結果、ホイールをロックさせてしまいました。もっと冷静にクロスラインを取っていただければ良かったかなと反省しています。その後は自信を持って前のクルマを攻略して3位でフィニッシュできましたが、チャンスをモノに出来なかった悔しさの方が大きいです。第12戦ではペースがあまりにも悪くて、前とギャップが開いてしまったので少しでもペースを上げるために何かを見つけ出そうと思って様々なラインを試したのですがタイムはあまり変わりませんでした。自分の走り方を含め、根本的なところを見直す必要があると思いました。ただ今回、ドライ路面では自信がついたので次は思い切って飛び込み、優勝を目指したいと思います。



▽ #13 三浦 愛選手

第11戦では、1コーナーを曲がったときにアウト側から並ばれたのですが、加速はこちらの方が良かったので前へ行かれないよう牽制しながら1車身は残して加速しようとしたときにぶつかってしまいました。正直、何が起きたのか分かりませんでした。レースを落としてしまったことが悔しいですが、クルマを準備してくれたチームや応援してくださった方に申し訳ない気持ちの方が大きいです。ただそれ以前に、自分が予選であのタイムしか出せずにあの位置を走っていたことに問題があると思います。第12戦には出走しませんでした。レースを外から見る機会になって、自分に足りないところがある改めて見えたような気がしました。残る3大会ではもっと前で戦えるよう頑張ります。怪我の方はレントゲンも撮って骨には異常がないということで、次のレースも近いので少しの間は安静にして万全のコンディションでレースを迎えたいと思います。



FUJI XEROX
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material Co.

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS COFFEE

TOYOBO

zahren

RAVS

SHIBA

KRS
KITEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD

2019

ThreeBond

RACE REPORT

▽ドライバーランキング

順位	ドライバー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	点差
		鈴鹿	AP			岡山			SUGO		富士		SUGO			もてぎ			岡山				
1	Sacha Fenestraz	10	0	12	12	11	11	9	8	5	8	0	11									97	—
2	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	9	12	0	0	1	6	10	5	12	DSQ	DSQ	6									61	36
4	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	2	3	7	7	7	1	1	1	2	10	5	1									47	50
3	Enaam Ahmed	0	0	0	0	3	7	3	10	0	5	11	7									46	51
5	片山 義章/Yoshiaki Katayama	5	7	5	5	DSQ	0	0	DNF	1	2	2	0									27	70
7	大津 弘樹/Hiroki Otsu	1	0	2	2	5	0	DNF	0	3	1	7	3									24	73
--	三浦 愛/Ai Miura	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNF	DNF									0	97

*DNS : Do Not Start 棄権 *DNF : Do Not Finish リタイア *DSQ : Disqualified 失格

*1位10ポイント、2位7ポイント、3位5ポイント、4位3ポイント、5位2ポイント、6位1ポイント

PP(ポールポジション)、FL(ファステストラップ)は1ポイント追加

▽チームランキング

順位	チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	点差
		鈴鹿	AP			岡山			SUGO		富士		SUGO			もてぎ			岡山				
1	B-MAX RACING with motopark	10	7	10	10	10	10	7	7	5	7	10	10									103	—
2	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	7	10	1	1	2	5	10	5	10	3	3	5									62	41
3	TODA RACING	2	3	7	7	7	1	1	1	2	10	5	1									47	56
4	OIRC team YTB	0	1	0	0	3	7	3	10	0	2	2	0									28	75
5	ThreeBond Racing	1	0	2	2	5	0	0	0	3	1	7	3									24	79
6	RS FINE	0	2	3	3	0	0	0	0	0	0	1	0									9	94

FUJI xerox
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material Co.

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS COFFEE

TOYOBO

zahren

RAVS

SHIBA

KRS
KITEL RACE SERVICE

Swift

OVERSEY

WPC

SP
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD